

教育経済常任委員会

委員長 小野 覚

売れる米作り事業 … 6,909万円

J A 精米施設整備への助成（5,000万円）・食味計購入費（500万円）など、総額6,909万円の予算です。前年当初予算127万円に比べ大幅に増加しました。

担当課より、「飯南町産米の全体を高く売ることと、区別してより高く売ることの2通りを考えている、玄米販売は安いので精米して有利販売する、米と野菜のセット販売」などの考えが示されました。

委員より、「全国食味大会に参加するならモデル水田を作るべきだ」、「農産物をトータルとして捉える中で米販売を考えよ」、「総合振興計画の後期計画に農業全体を売って行くことを盛り込め」など、活発な提言をしました。

ヤマトイモ推進事業 … 1,154万円

ヤマトイモ生産組合貸付金790万円・同組合補助金151万円など、総額1,154万円の予算です。委員会の総意として、「生産組合貸付金は実行されてはいるが生産意欲を失わせかねない現況にある」ことを確認しましたので、生産意欲を喚起すべき本来の目的に沿うよう『申し入れ書』を町長に手交し、早急に改善を図るよう求めました。

森林セラピー推進事業 … 2,483万円

旅行業開設事業1,100万円・森林セラピー事業運営委託料901万円など、総額2,483万円の予算です。執行部より、「旅行業開設など森林セラピー推進にむけ前進してはいるが、一方で、この事業と一体である『ふるさとの森施設整備事業（1億92万円）』が大幅に遅れる」との見通しが示されました。委員会としては、事業全体を早急に見直したうえで事業推進を図るよう申し渡しました。



県民の森

総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻 行雄

ふるさとの森設置及び管理に関する条例

島根県から取得した「県民の森」を飯南町ふるさとの森として維持管理し、この施設を観光資源として地域振興に活用するため、設置管理条例を制定するものです。

施設の改修が完了すれば、現在の森林セラピーをさらに進め、予防医療の分野への取り組みも考えられています。

飯南町の辺地に係る総合整備計画

①移動通信用鉄塔設備の整備

携帯電話等の利用可能な地域の拡大を図り、不感地域の解消に努め、住民・通行者等の利便性向上及び、災害・緊急時の通信手段確保を図るためのものです。

移動通信用鉄塔は下来島、獅子、八神、志津見、角井地区に設置され、これらの地域の通信感度は飛躍的に向上します。

②観光レクリエーション施設の整備

都市住民の田舎暮らしへの憧れが高まる中、クラインガルデンは常に満室状態です。

現状の解消を図るため、ラウベの増設を行いニーズに応えます。

また、国道184号沿線の観光施設は、交流拠点としての役割を果たしており、志津見ダム completionにより、さらに利用客の増加が見込まれています。

これに対応するため、うぐいす茶屋の増築及び、やまめの溪管理棟の拡充を図ります。

平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算

飯南町の国保会計における一人当たりの医療費は島根県下で高いほうから2番目、国保料は低いほうから2番目と成っています。この現状をふまえ、「健康（まめ）な飯南21」計画の中で日本一健康なまちを目指した取り組みが進められています。

しかし、現在の医療費水準が続くようであれば二年以内に基金は枯渇し、インフルエンザ等の流行に対応できなくなる恐れがあります。家計が厳しいことは十分承知していますが、やむなく10%の値上げをすることにしました。

平成22年度に実施される投資的事業 … 16億885万円

平成21年度繰越事業と平成22年度当初予算中の投資的経費は16億885万円に上ります。

主なものは泉川団地へ定住促進住宅の建設、県民の森研修館改修工事、道路事業、災害復旧、簡易水道工事等です。

これらの投資が目的を達することで、お金の町内循環を生み、経済効果により、現状の不況感からの脱却がなされることを期待します。

討論

平成21年度
一般会計補正予算第8号

【反対討論】

伊藤 好晴

ふるさとの森に関する補正は、県民の森の一部を県が飯南町に押しつけたもので後世に負担を残す。また、緑の分権改革推進事業は、初年度のみ補助金で無責任な事業だ。以上の理由で反対する。

【賛成討論】

石原 敏郎

県民の森は先代の努力により一連の町づくりとして設置された背景がある。その一部を取得し、ふるさとの森として町一丸となった有効活用を確信し賛成する。

平成22年度 一般会計予算

【反対討論】

伊藤 好晴

米販売に関する予算など評価する内容もあるが、児童福祉から撤退する案件・不公平感を生む指定管理料・目的通りに使われていないヤマトイモ推進事業費などがあり、町民の暮らしや安全を守る予算となっていない。

【賛成討論】

石原 敏郎

予算の一部が駄目なら全部が駄目だという伊藤議員の姿勢は無責任。現実と理想の狭間を埋めるのが政治の役割だ。トータルで眺めたとき、一生懸命頑張ろうという意欲が出る予算になっている。

平成22年度国民健康保険
事業特別会計予算

【反対討論】

伊藤 好晴

平成22年度の保険料負担を10%引き上げるとは、町民に苦しみを押しつけるものだ。これは保険料滞納を産む原因にもなり容認できない。

【賛成討論】

石原 敏郎

国保会計における一人当たり医療費は県下2番目に高く、保険料負担は県下2番目に低いという状況であり、保険料を上げざるをえない。滞納問題などは違う観点で考えるべきものだ。

飯南町企業誘致条例

【賛成討論】

石原 敏郎

飯南合併協議会を通じ、一町民としてこの条例について発言してきたが、ようやく制定の運びとなった。今後は弾力的に条例を運用し、有意義な企業誘致できることを切望し、賛成する。